

明石市自治基本条例 市民検証会議

総合計画制度

2025年9月29日

政策局SDGs共創室企画・調整課

総合計画とは

■ 行政運営の最上位となる計画

- ✓ 行政運営の最も上位に位置付けられる行政計画で、本市のあらゆる分野別計画の基本となる計画

■ 行政経営を定める計画

- ✓ まちづくりを総合的・計画的に推進するための指針
- ✓ 明石市の将来の都市像として、目指すまちの姿やまちづくりの方向性といった基本構想を定めた計画

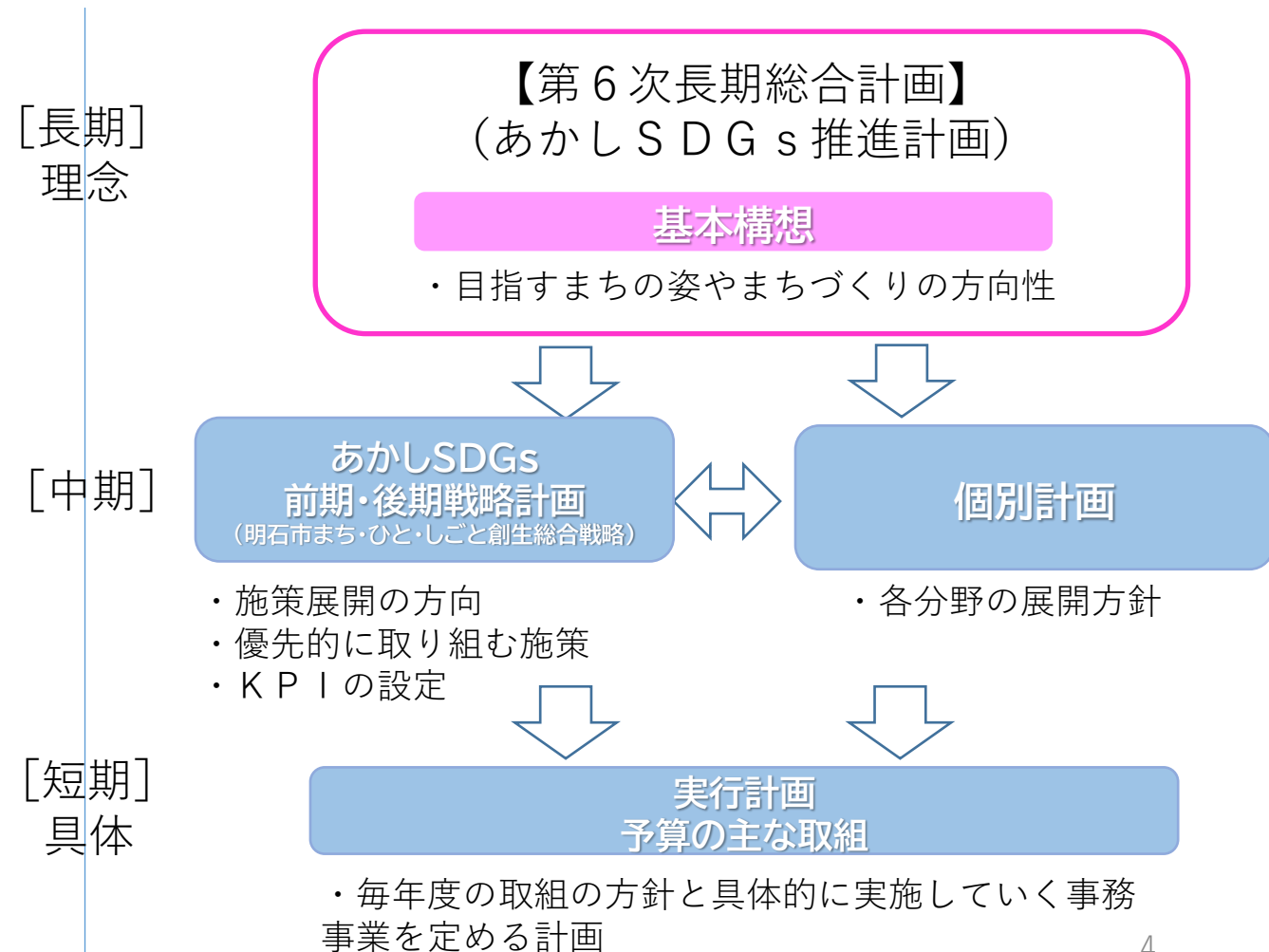
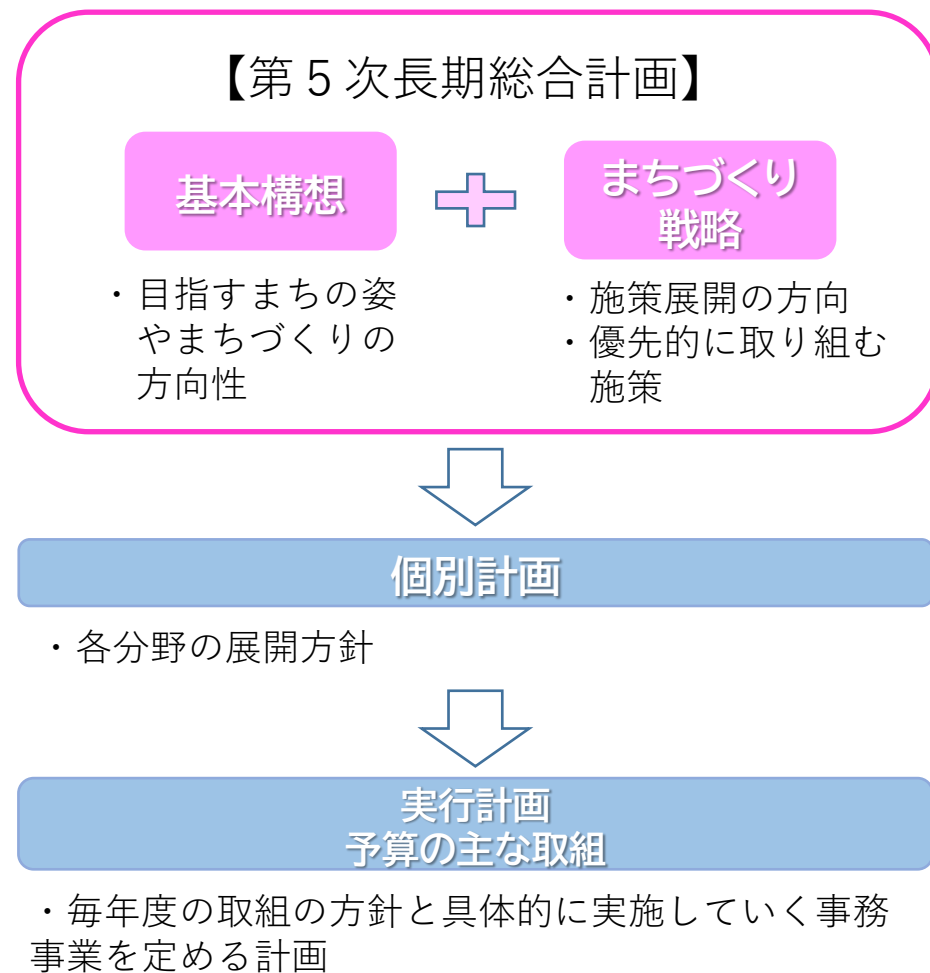
総合計画の根拠

■ 明石市自治基本条例

- 第26条 市長は、市政を総合的かつ計画的に運営していくための基本となる計画（以下、「総合計画」という。）を市民参画の下で定めなければならない。
- 2 市長は、市民と共にまちづくりを進めていくため、市民と共有できるまちづくりの目標を総合計画に定めるものとする。
 - 3 市長は、総合計画に定めるまちづくりの目標を実現するため、具体的な施策・事業について個別の計画を定めるとともに、実行していくための計画を策定し、達成目標等をできる限り数値で示すものとする。
 - 4 市長は、総合計画及び前項に規定する計画（以下、「総合計画等」という。）に基づくまちづくりを推進していくため、適切な進行管理を行い、検証及び評価をし、必要に応じ見直しを行うものとする。
 - 5 予算編成等の財政運営、評価、行政改革、組織編制等は、総合計画等と調整を図りながら、行わなければならない。

総合計画の構成

基本構想、戦略計画、個別計画、実行計画から構成されています。



[長期]
理念

[中期]

[短期]
具体

総合計画の期間

■ 第5次長期総合計画

基本構想・戦略計画：2011年度～2021年度（11年間）※コロナのため1年延長

	2011	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
基本構想											
戦略計画											

■ 第6次長期総合計画

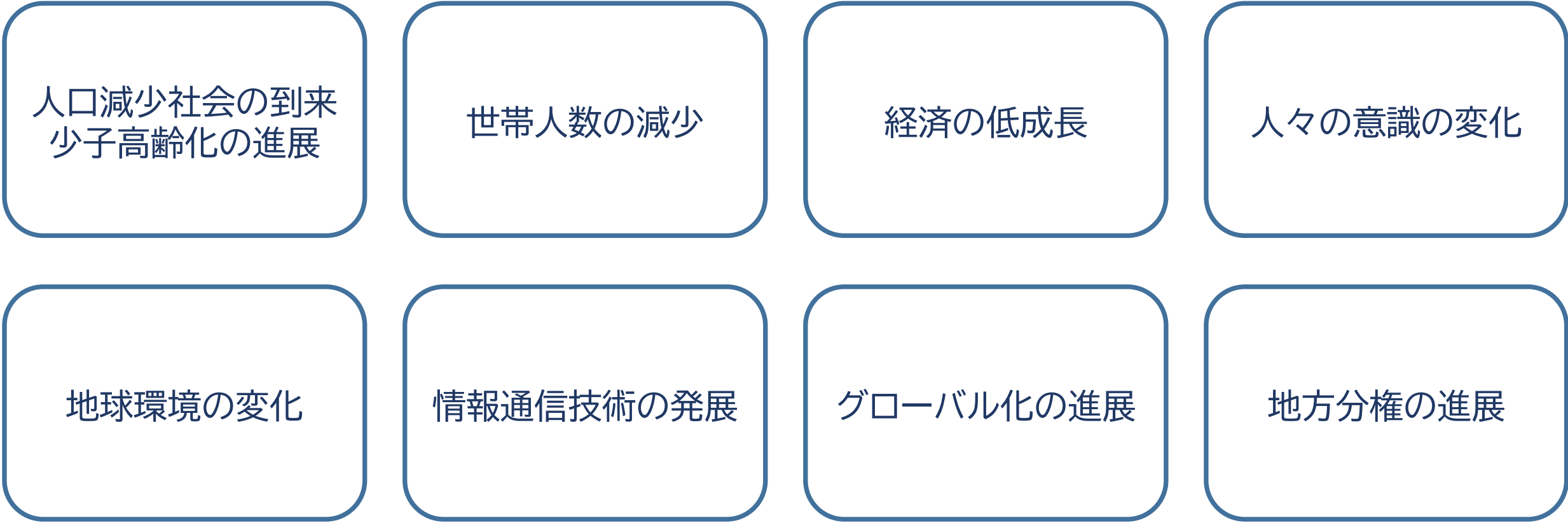
基本構想：2022年度～2030年度（9年間）※SDGsの目標年次

前期戦略計画：2022年度～2025年度（4年間）後期戦略計画：2026年度～2030年度（5年間）

	2022	23	24	25	26	27	28	29	30
基本構想									
前期戦略									
後期戦略									

第5次長期総合計画

■ 計画策定時の社会情勢（2010年頃）



第5次長期総合計画

■ 基本構想

「ひと」に焦点を当てたまちづくりを進める

明石で暮らし、明石で活動する「ひと」の思い、知恵、可能性を大切に



【目指す10年後のまちの姿】

ひと まち ゆたかに育つ
未来安心都市・明石

目標人口:29万人

人が選び、集まる

人を引き寄せる様々な魅力を育み、人が選び、集まるまちを目指します

人が出会い、つながる

他人への思いやりや社会との協調を大切にし、人と人が価値観を認め合い、信頼を築くまちを目指します

人が学び、成長する

社会や地域で能力を発揮し、生きがいや充実感を得られるような、生涯にわたって学び成長できるまちを目指します

第5次長期総合計画

■ まちづくり戦略

子どもの健やかな育ちで、
みんなの元気を生み出す

子育て世代にとっての魅力を
高め、定住と流入を促進

子どもを介することで、人の
ふれあいを促進

子どもの育ちに関わっていく
ことで、みんなも成長

戦略を支える5つの柱

① 安全・安心を高める

展開の方向

- ✓ 日常生活の安全性を高める
- ✓ 非常時への備えを万全にする
- ✓ 健康な心と身体を維持する
- ✓ 共に生きるための支え合いを充実する

② 自立した温かい地域コミュニティをつくる

展開の方向

- ✓ 主体的な地域活動、市民活動を広げる
- ✓ 高齢者の地域での活動の場を広げる
- ✓ 認め合う開かれた地域をつくる

③ 明石らしい生活文化を育てる

展開の方向

- ✓ 自然の恵みを将来にわたり享受できる環境をつくる
- ✓ スポーツや文化芸術、歴史に親しめる環境をつくる
- ✓ 食・海・時を暮らしに生かす

④ まちを元気にする

展開の方向

- ✓ 地域産業を元気にする
- ✓ 中心市街地の魅力を高める
- ✓ 明石のファンを増やす

⑤ 一人ひとりの成長を支える

展開の方向

- ✓ 子育て家庭を支える
- ✓ 質の高い教育を推進する
- ✓ 幅広い世代の意欲を育む

■ 策定までの流れ

C

第6次長期総合計画の策定過程

■ あかしSDGs推進審議会

	所属団体等	備考
第1号 学識	兵庫県立大学副学長	会長
	甲南女子大学教授	副会長
	神戸学院大学教授	副会長
第2号 関係団体	明石市連合まちづくり協議会	
	国際ソロプチミスト明石	
	明石市高年クラブ連合会	
	エコウイングあかし	
	明石ろうあ協会	
	明石市ボランティア連絡会	
	あかし女性応援ねっと	
	明石市障害当事者等団体連絡協議会	
	連合兵庫中南部地域協議会	
	明石市消費者協会	
	明石商工会議所	
	連合子ども会育成連絡協議会	

	所属団体等	備考
第2号 関係団体	明石青年会議所	
	明石ゴミ研究会	
	NPO法人ウィズアス	R3.5.16～
	明石市視覚障害者福祉協会	R3.5.16～
第3号 公募市民	公募市民	
	公募市民	
	公募市民	
	公募市民	
	公募市民	
	公募市民	
	公募市民	R3.5.16～
第4号 その他市長 が必要と認 める者	明石工業高等専門学校(学生)	
	キャタピラー明石事業所	外国籍
	あかし高校会議所(学生)	
	中国語教室主宰	R3.5.16～
	明石北高等学校(学生)	R3.5.16～

第6次長期総合計画

■ 計画策定時の社会情勢（2021年頃）

人口減少
少子高齢化の進展

地域共生社会
の必要性

景気後退
多様な雇用の創出

新型コロナウイルス
感染症の影響

環境問題の深刻化

情報通信技術の
更なる進展発展

巨大災害の切迫

SDGsの推進

第6次長期総合計画（あかしSDGs推進計画）

■ 基本構想

【2030年のあるべき姿】

SDGs未来安心都市・明石
～いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで～

目標人口:30万人 住みやすいと思う人の割合:100%

いつまでも
(持続可能)

まちの好循環により、明るい
未来につながる**サステナブル**
(持続可能)なまちづくりに取り組みます

すべての人に
(誰一人取り残さない)

年齢・性別・国籍・障害など
に関わらず、すべての人が**安**
心を感じられる**インクルーシ**
ブなまちづくりに取り組みま

やさしいまち
(やさしい社会を明石から)

経済・社会・環境の統合的向
上を目指し、ハード・ソフト
の両面から安心して暮らし続
けられる**やさしいまちづくり**
に取り組みます

みんなで
(パートナーシップ)

市・市民・事業者などが一丸
となってみんなで**(パート**
ナーシップ)、目標の達成に
向けて取り組みます

【まちづくりの方向性】

三側面の統合的なまちづくり

経 済

にぎわいと活力が持続するまち

環 境

人にも自然にも地球にもやさしいまち

社 会

すべての人が安心して暮らせるまち

あかしSDGs 前期戦略計画

施策展開の5つの柱

まちづくりの数値目標

- ① 総人口30万人
- ② 住みやすいと思う人の割合95%

柱① 豊かな自然と共生し、暮らしの質を高める

- 1 脱炭素社会の実現
- 2 循環型社会の実現
- 3 自然環境の保全と活用

柱② 笑顔あふれる共生社会(インクルーシブ社会)をつくる

- 1 支え合う地域づくり
- 2 自分らしく生きることが出来る社会づくり
- 3 健康・長寿の推進

柱③ こどもの育ちをまちのみんなで支える

- 1 安心して子育てができる環境の整備
- 2 一人ひとりに応じた質の高い教育の推進
- 3 こどもの状況に応じた適切な支援

柱④ 安全・安心を支える生活基盤を強化する

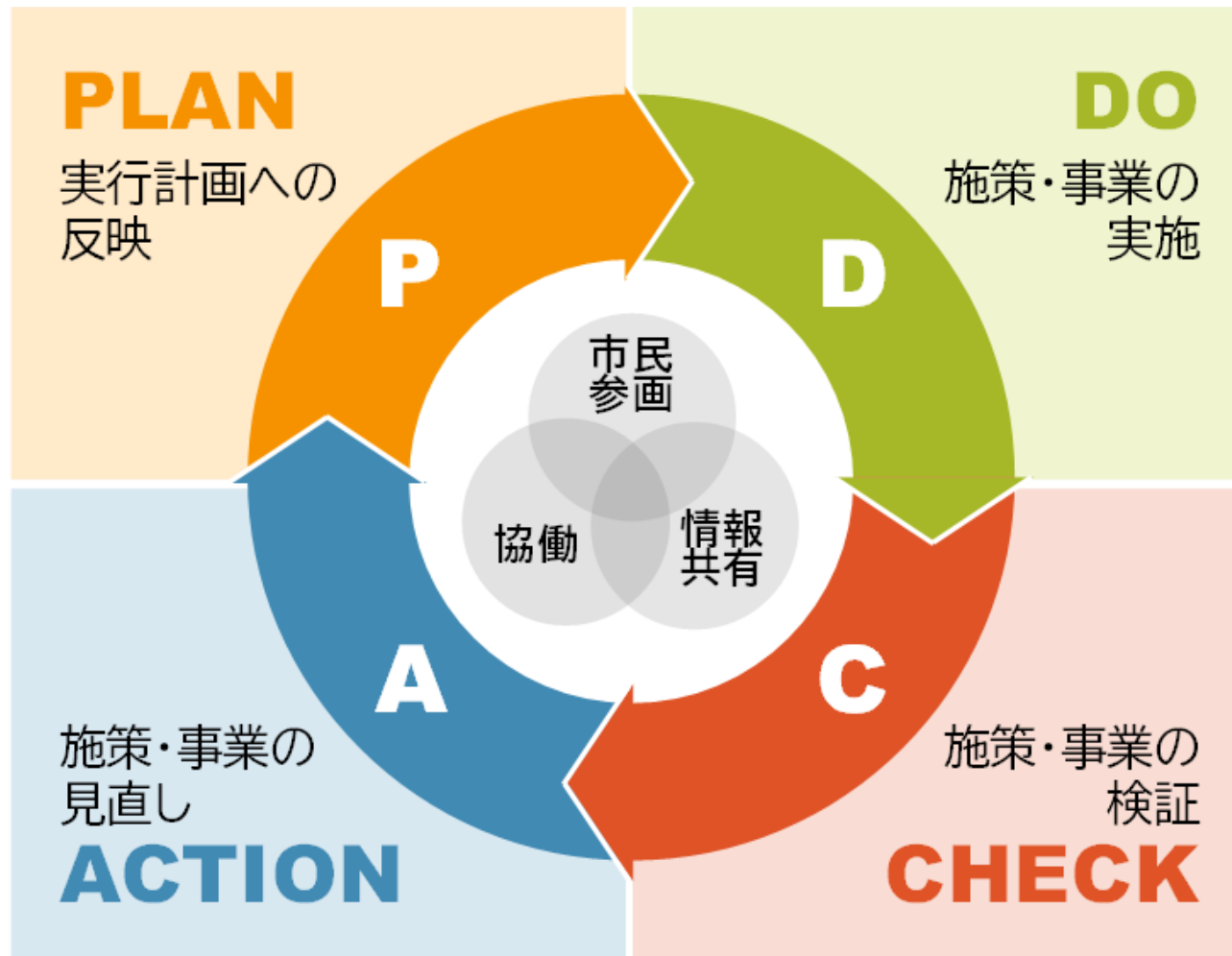
- 1 防災・感染症対策の強化
- 2 日常の安全・安心の確保
- 3 誰もが利用しやすく安全で強靱な都市基盤の整備

柱⑤ まちの魅力を高め、活力と交流を生み出す

- 1 地域産業の振興
- 2 豊かな心を育む文化・芸術の推進
- 3 まちの魅力を生かした賑わいの創出

主要施策とKPI(15項目)の設定

計画の進行管理

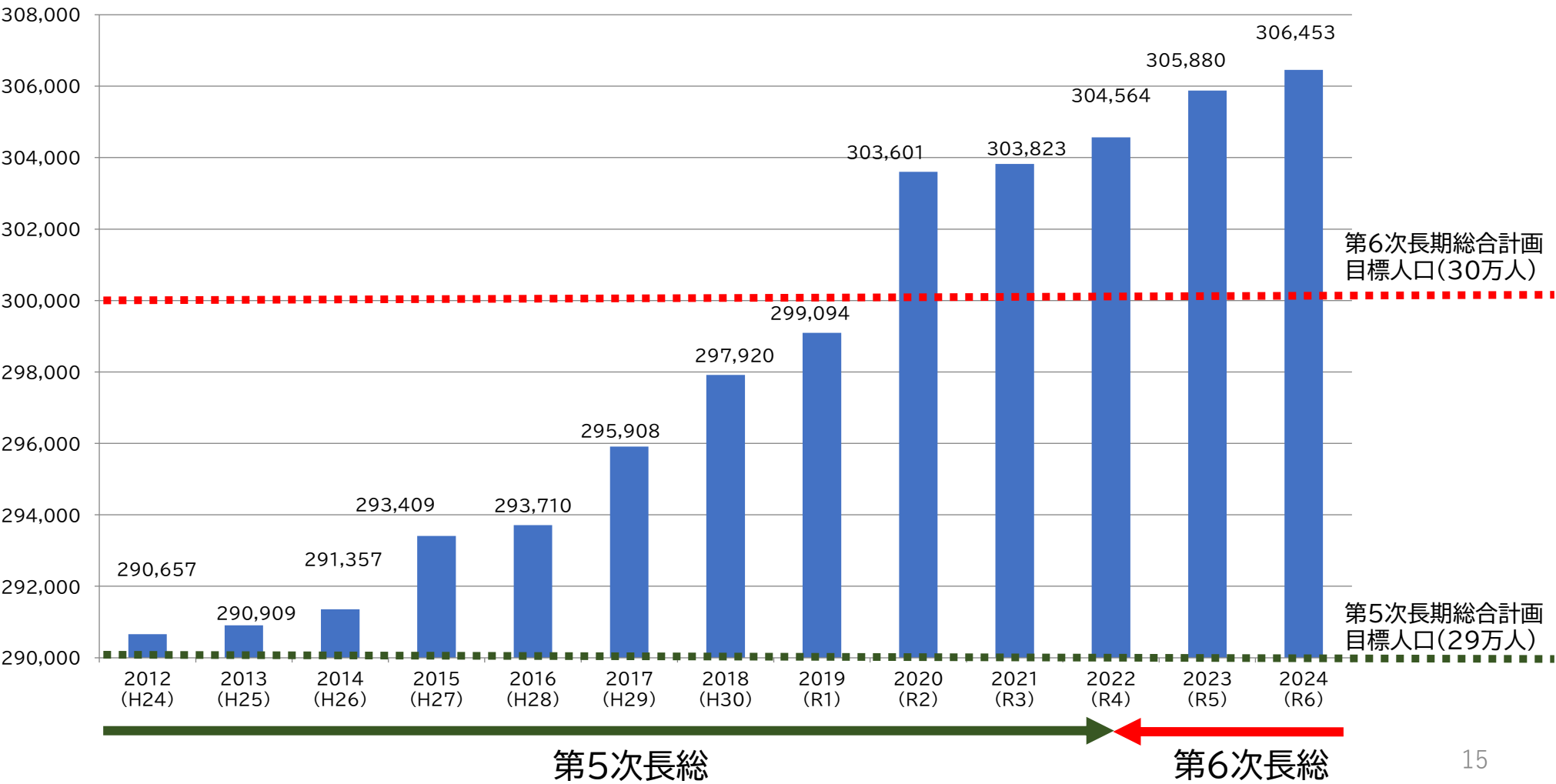


- ✓ 人口動向の分析
- ✓ まちの愛着度・住みやすさ・定住意向に関する
市民意識調査の分析(2014年・2019年・2025年実施)
- ✓ 市民や有識者等で構成する審議会での進捗状況の検証(毎年度)
 - ・まちづくりの数値目標、重要業績評価指標(KPI)等
- ✓ 審議会での検証を受けて、新年度のまちづくりの方針や予算へ反映
- ✓ 具体的に実施する事務事業を定めた実行計画の策定(毎年度)
- ✓ 個別計画の進行管理は、各部局がPDCAサイクルに基づき実施

まちづくりの取組成果

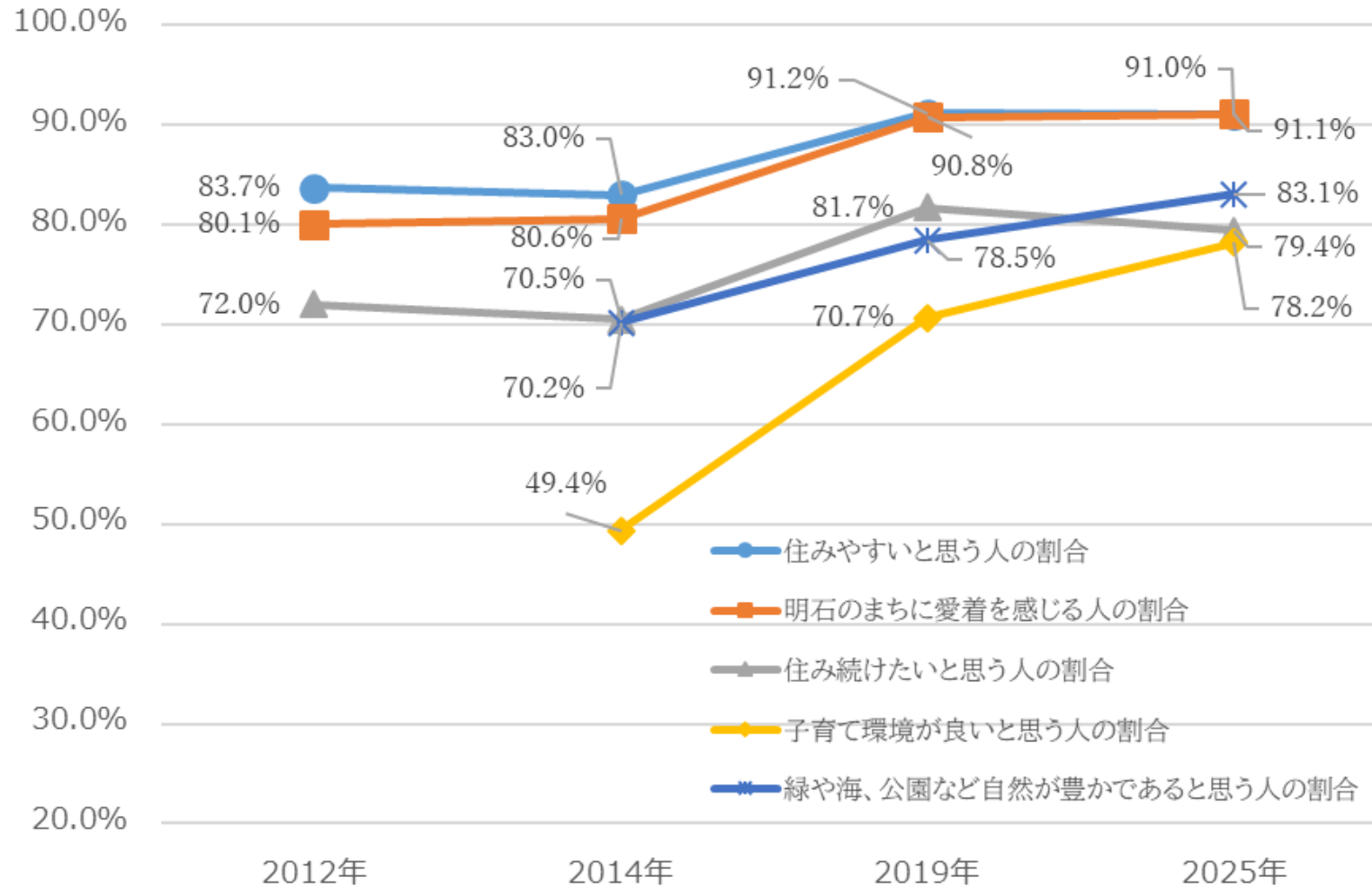
■総人口 単位:人

総人口の推移(2013年～2023年)



まちづくりの取組成果

■市民意識調査



■重要業績評価資料(KPI)

例)あかしSDGs前期戦略計画

施策展開の柱1 「豊かな自然と共生し、暮らしの質を高める」

K P I	当初値	計画 1 年目 実績値	計画 2 年目 実績値	計画 3 年目 実績値	目標値	進捗度
温室効果ガス排出量 (2013年度比)	11.9%の減 (2018年)	17.7%の減 (2019年)	8.5 %の減 (2020年)	15.0%の減 (2021年)	30%の減 (2025年)	○
ごみの排出量 (1人1日当たり)	959 g /人・日 (2019年度)	867 g /人・日 (2022年度)	841g/人・日 (2023年度)	2024年度値は 秋頃	915 g /人・日 (2025年度)	◎
市民一人当たりの公園面積	7.14㎡/人 (2021年4月1日)	7.14㎡/人 (2023年4月1日)	7.33㎡/人 (2024年4月1日)	7.33㎡/人 (2025年4月1日)	7.35㎡/ (2026年4月1日)	○

【検証１】 制度が社会情勢に適合しているか

これまでの検証結果

自己検証	横断的検証
○	○

■制度に関連した社会情勢

- ✓ 少子化による人口減少やそれに伴う地域経済の縮小を克服。成長力の確保が求められている。
- ✓ 気候変動や自然災害、感染症といった地球規模の課題が連鎖して発生。地域経済の成長や社会問題にも影響。
- ✓ 「持続可能」「誰一人取り残さない」「パートナーシップ」を理念とするSDGsが国連で採択。
- ✓ 各自治体にも地方創生SDGsとして、経済・環境・社会の三側面から統合的な取組を行い、持続的な発展につなげていくことが求められている。

■社会情勢の現状と制度が適合しているか

- ✓ 第6次長期総合計画は、将来にわたり活力ある持続可能なまちを実現するため、2030年度の目標人口を30万人とした。
- ✓ まちづくりの方向性として、SDGsの考え方をまちづくりの基軸として位置付けており、経済・社会・環境の三側面からの統合的な取組による相乗効果を生み出し、暮らしの質と安心、まちの魅力を高めることで、まちの好循環の維持・拡大を図るとしている。

【検証2】 本市にふさわしい制度か

これまでの検証結果

自己検証	横断的検証
○	○

- ✓ 総合計画は、まちづくりを総合的・計画的に推進するための指針となる計画であり、これまで「住みたい、住み続けたい」と思われる特色あるまちづくりを推進してきた。
- ✓ 第5次長期総合計画では、まちづくり戦略を「子どもの健やかな育ちで、みんなの元気を生み出す」として、こどもを核としたまちづくりを推進してきた結果、人口増を契機としたまちの好循環が生まれている。
- ✓ 第6次長期総合計画では、SDGsをまちづくりの基軸とした「SDGs未来安心都市・明石～いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで～」を2030年のあるべき姿として定め、暮らしの質を重視したまちづくりを加速させ、市民満足度を更に高めるなど、引き続き明石らしい特色あるまちづくりを推進していく。

【検証3】 制度が条例の基本原則に適合しているか

①参画と協働に基づくこと

自己検証	横断的検証
○	○

- ✓ 審議会やタウンミーティング、市長懇談会などの多様な市民参画のもと計画を策定した。進行管理にあたって、審議会を開催し、計画の推進状況について検証を行っている。

② 公正で透明であること

自己検証	横断的検証
○	○

- ✓ 審議会は、公募市民も参画して公開で実施し、また、全ての関係資料をホームページで公表している。

③効果的で効率的であること

自己検証	横断的検証
○	○

- ✓ 総合計画の構成を変更し、戦略計画は、5年ごとに見直すとともに、KPIを設定し、進捗確認を容易にしている。
- ✓ 前期戦略計画を明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第2期)として策定することで事務の効率化を図っている。

④施策を計画的に実施し、実施結果について評価を行うこと

自己検証	横断的検証
○	○

- ✓ 計画の推進状況について、毎年度、審議会でも数値目標やKPIなどを基に検証を行うほか、計画期間の中間年度及び最終年度に評価を行っている。